

新型コロナウイルス感染症患者（10例目）の発生について（第1報）

令和2年4月5日（日）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症を疑う患者が受診している旨の連絡があり、本市衛生研究所で検査を実施したところ、4月6日（月）、陽性であることが確認された。

患者は、プライバシーに係る事項の公表を拒否しているが、確認できた行動歴からすると、多くの感染が確認されている地域への往来があることから、それを前提の上で、所要の積極的疫学調査を逐次実施しているところである。

1 患者概要

- (1) 居住地：広島市
- (2) 症状：発熱、咳、倦怠感（現在、症状は安定している。）

2 行動、症状の経過等

- 3月30日（月） 発熱（37度～38度）するも解熱
その後、症状なく経過
- 4月 3日（金） 夜から4日の明け方にかけて38度の発熱
- 4月 4日（土） 咳、呼吸時の違和感、発熱、倦怠感あり
- 4月 5日（日） 症状は改善傾向であったが、A医療機関を受診。胸部レントゲン
検査にて肺炎所見あり
医師が新型コロナウイルス感染症を疑い、感染症指定医療機関に
入院
検体を採取し、PCR検査の結果、陰性と判明
- 4月 6日（月） 医師が新型コロナウイルス感染症を強く疑い、再度検体を採取
PCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はなく、発症後はマスクを着用していた。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。